

箕面市地域公共交通活性化協議会
第8回 路線バス網再編検討分科会 会議録

1. 日時

令和3年11月29日（月） 午後1時00分～午後1時45分

2. 場所

箕面市役所 3階 委員会室

3. 出席者

(会長)

- ・大阪大学大学院工学研究科教授 土井健司

(委員)

- ・阪急電鉄株式会社交通プロジェクト推進部部长 越智厚
（代理出席）交通プロジェクト推進部課長 片山裕己
- ・北大阪急行電鉄株式会社延伸事業部調査役 小林孝安
- ・大阪モノレール株式会社総務部総務課長 正田真一
- ・阪急バス株式会社自動車事業本部営業企画部計画課長 田中祥敬
- ・国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長 片田一真（オブザーバー）
（代理出席）交通企画課専門官 中井睦
- ・大阪府箕面警察署交通課長 大西将仁
- ・公募市民 中西昭弘
（代理出席）勝間田早紀
- ・箕面市みどりまちづくり部道路管理室長 杉中純弥
- ・箕面市地域創造部地域創造推進監 岡本秀
- ・箕面市地域創造部箕面営業室長 柴田大

(欠席)

- ・富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科准教授 猪井博登
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所高槻維持出張所長 徳永晋哉
- ・大阪府池田土木事務所地域支援・企画課企画グループ長 遠藤淳
- ・公募市民 中尾佳生
- ・箕面市健康福祉部健康福祉政策室長 村中慶三

以上、委員15名のうち10名出席、オブザーバー1名出席

4. 議題

- (1) 地域公共交通計画（素案）の方向性に係るパブリックコメントの実施結果について
- (2) 公共交通の役割分担について
- (3) 市民意見をふまえたルート案の修正について
- (4) 地域公共交通計画策定に向けた検討スケジュールについて
- (5) その他

5. 議事要旨

(1) 地域公共交通計画（素案）の方向性に係るパブリックコメントの実施結果について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○協議会では、市民意見及び意見に対する市・協議会の考え方を12月6日（月曜日）までの期間で確認することになっているが、分科会委員による確認は行わないか。

→分科会委員においても、加筆・修正等の指摘がある場合は、同じく12月6日（月曜日）までに事務局あてご連絡いただきたい。

(2) 公共交通の役割分担について

【検討内容は次のとおり。】

○市内のあらゆる交通モードの果たすべき役割を明確化し、地域公共交通計画に盛り込むことを前提として整理するものと受け止めた。新たなモビリティや交通形態にも視野を広げながら、本分科会では路線バスの在り方に関する議論を深めたい。

(3) 市民意見をふまえたルート案の修正について

【検討内容は次のとおり。】

○阪急バスとして、今回のルート案の修正は、路線の重複を解消すること、および、市内の東西移動の円滑化を目指して提案したもの。

○箕面中央線と（仮）箕面小野原線について、東西でそれぞれをループ路線として設定するのに比べて、両路線を統合（一体化）することにはどういったメリットがあるか。

→前提として、箕面萱野駅～箕面船場阪大前駅の区間は、鉄道と並行するため利用者があまり見込めない。両路線を東西で別々に設定した場合、当該区間を2つの路線が重複して運行することになる。両路線を統合（一体化）した場合は、当該区間での路線の重複が解消され、運行が効率化できると考えている。

○箕面山麓線については、一度社会実験路線として設定をして需要を見定めていくということかと思うが、そのほかの路線も含めて市民及び事業者の両者からの意見をふまえた修正となっており、以前の案より改善されている。

○各路線の運行頻度については、次回以降の分科会で議論する。なお、運行頻度の設定にあたっては、各路線・各地域において予測される需要のバランスを見極めながら議論する必要がある。

(4) 地域公共交通計画策定に向けた検討スケジュールについて

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○地域公共交通計画の策定に向けてかなりタイトなスケジュールで進めていくことになる。また、パブリックコメントを実施する際には、市民説明会も開催され、そのほか、住民側からのご要望に応じて随時説明会の開催もある。

(5) その他

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○阪急バスでは、12月18日（土曜日）にダイヤの見直しを行う。今回の見直しの対象となる路線は、茨木営業所及び豊能営業所の管轄路線。箕面市域では、箕面山麓線や栗生団地線、小野原東線などで、減便や時刻の変更がある。ご利用者向けの案内も11月30日（火曜日）から順次実施する。

○茨木市域などでは、かなり大幅に路線が見直しされると聞いた。

→茨木市域や豊能町域では、特に山間部を運行する路線などで、沿線住民の減少などの状況があることから、路線の見直しを実施する。

○近隣市町村では、路線の見直しを受けてAIによるオンデマンドバスの運行なども検討していると聞いている。案件（2）でも議論したとおり、箕面市においても今後はそういった新しい交通モードでの運行なども視野に入れて検討を進める必要がある。

以上